

# かわぐち

2005. 3月号 No.377

今月の主な内容

- かわぐち復興へのみち……………2～3
- 19年ぶりの大雪に……………4
- あなたの「こころ」大丈夫ですか…5
- 保育園だより「大きくなーれ」……6
- 震災復興支援イベントのお知らせ…7
- 被災者生活再建支援金の申請はお済みですか ほか ……8

ほか



美味しいものを食べて元気になって

一流料理人・パティシエによる  
料理ボランティア開催

2月20日、川口中学校体育館で一流料理人・パティシエによる料理ボランティアが開催されました。被災した皆さんに美味しいものを食べて元気になっ

てもらおうとの料理研究家 山本益博さんの呼びかけに、さまざまなジャンルの料理人・パティシエが集合、自慢の料理を提供しました。

会場には600人を超える人が訪れ、ラーメンやカレー、シュークリームなど一流の味に元気づけられました。

かわぐち歴史探訪 ③4  
長岡藩主のお国入り4



▲参勤交代の様子

川口宿に関連した研究をご紹介します。川口宿に参勤交代の参勤行列の順序は、武鑑により前々から帰国の時期は決められていた。正月が過ぎると藩邸では、密かに帰国の準備を始める。公でも数カ月前に「諸大名参勤交代何書」を提出し、幕府に伺いを立てるのであった。

その日が近づくと、將軍から「帰国御暇」を伝える上使があった。上使は老中、奏者番クラスの者が当たり、將軍からの下賜品を持って来る。長岡藩には、巻物2巻と馬1匹であった。早速上使を丁寧接待する。数日して、將軍への参勤の挨拶が許され登城する。謁見の間は黒書院、白書院など格式によって違う。將軍の手から盃をいただきます。

(3)大名行列の順序  
武鑑により前々から帰国の時期は決められていた。正月が過ぎると藩邸では、密かに帰国の準備を始める。公でも数カ月前に「諸大名参勤交代何書」を提出し、幕府に伺いを立てるのであった。

その日が近づくと、將軍から「帰国御暇」を伝える上使があった。上使は老中、奏者番クラスの者が当たり、將軍からの下賜品を持って来る。長岡藩には、巻物2巻と馬1匹であった。早速上使を丁寧接待する。数日して、將軍への参勤の挨拶が許され登城する。謁見の間は黒書院、白書院など格式によって違う。將軍の手から盃をいただきます。

帰国の許可が出ると、早速道中の供家老を選任し、供人の決定と各人への通知、行列の宿割、旅費の計算、宿場との交渉、行列の編成と役割分担、宿場の継人馬依頼など大忙しである。供人の数については、元和元年(1615)の規定で1000万石以下は20騎以下、10万石以下は家禄に応じた人数と定められていた。何回も見直されたが長岡藩7万4千石では享保6年の武鑑により馬上7騎、足軽60人、仲間人足100人で計約170人であった。この隊が藩主を護衛する本隊であり「行列の内」とよばれていた。この行列の内が格式のある大名行列の姿である。

※奏者番：將軍へ取次する役職  
(佐藤 栄)

震災被害状況 (2月21日現在)

人的被害状況

死者	重傷者	軽傷者
5人	38人	24人

住宅被害状況

全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊
602棟	136棟	331棟	323棟

非住家被害状況

公共施設	その他
77棟	1,564棟

あとがき  
▼雪の降り方も落ち着き、少しずつ春の足音が近づいているのを感じます。厳しい冬を乗り切ったのも後少しの辛抱です。▼地震の影響で残念ながら中止になった今年の雪洞火ほたる祭ですが、各地区で復興を祈念したまつりが行われたり、町の商工会青年部の皆さんが主体になって「元氣かわぐち」フェスタ2005」を開催し、町の元氣をアピール。また復興を祈念して、町中にロウソクが灯されるなど、一致団結して復興へ進もうとする皆さんの強い思いが感じられました。この思いが雪解けとともに始まる本格的な復興に向けての大きな力になり、町に明るい光がさすように思えました。

# かわぐち復興へのみち

## 町の復興への取り組み

町では2月1日に震災復興対策本部を設置して、復興に向けて動き始めました。これから町や各地区での復興への取り組みなどを紹介していきます。

### 公営住宅計画地区懇談会を開催します

#### 公営住宅建設計画とは

中越大震災で家屋が滅失し、低所得のため、住宅の自力再建が難しいという方のために建設するもので、住み慣れた地域に住みたいなど、地域社会を守るために地区や入居希望者の意見を聞いて、各地区での建設を予定しています。

### 公営住宅計画地区懇談会日程 (時間はいずれも19時から)

期 日	地 区 名	会 場
3月5日	東川口地区	川口中学校 仮設集会所
3月6日	和南津地区	和南津農村公園 仮設集会所
3月7日	田麦山地区	大形仮設集会所
3月8日	上川地区	泉水小学校
3月9日	西川口地区	川口中学校 仮設集会所

より良い公営住宅の建設を目指す。

町では、仮設住宅に入居している方から公営住宅への入居希望の「意向調査」を行いました。その結果、入居意向のある方及び地区の方から意見や希望を聞いたうえで、計画を進めることにしています。

公営住宅への入居を考えている方は、上記のスケジュールで懇談会を行いますのでご出席ください。

問い合わせ 建設企業課  
☎ 89-3114

ゲッティなどが紹介され、食生活改善推進委員の指導で実際に作って試食しました。参加者は「味が良くて、簡単に作れるので、自宅でもぜひ作ってみたい」と喜んでいました。美味しいものを食べて、自然におしゃべりもはずんでいました。



### 図書館の夜間開放が始まる

2月1日から3月31日まで被災した高校生、中学生の皆さんに受験勉強や家庭学習などの場として利用してもらおうと図書館の夜間開放を行っています。

ほぼ毎日利用しているという中学生は、「高校受験に向けて勉強しています。図書館は静かで勉強しやすいので夜間開放は助かります」と話していました。



### 被災者失業緊急雇用事業を活用しませんか

この事業は、仮設住宅に入居している45歳以上で失業している人を対象に臨時的な就業の場を確保するため、県と町、シルバー人材センターが一体となって行っているもので、シルバー人材センターの臨時会員に登録、仮設住宅の入居者を支援する仕事を行うものです。

現在、集会所施設の開放や図書館の夜間開放の管理人、雪崩危険箇所のパトロールなどの業務を行っています。

この事業を活用したい方は、町シルバー人材センターにお問い合わせください。問い合わせ シルバー人材センター  
☎ 89-2760

### 「越後杉」を使った再建住宅に100万円を限度に助成

「新潟県産の杉材」を使って住宅再建をする被災者の皆さんに、使った量に応じて100万円を限度に助成を行います。

詳細は建築業者にご相談ください。問い合わせ 県長岡地域振興局林業振興課  
☎ 38-2572 農村振興課  
☎ 89-3113

### 農地に住宅等の建築を考えている方は早めに手続きを

農地に住宅等を建築する場合農地転用手続きが必要となります。該当する方は3月末日までに連絡してください。問い合わせ 農村振興課  
☎ 89-3113

### 新しい交流の場として利用

#### 仮設集会所などの施設開放が始まっています

仮設住宅を中心とした新たなコミュニケーションの場として、2月1日から始まった仮設集会所などの施設開放で、各地区でさまざまに使用されています。

#### 毎日、座談会を開いています

和南津農村公園仮設集会所 和南津地区では、被災者失業緊急雇用事業を活用し、2月13日から毎日仮設集会所の開放を行っています。同仮設集会所は、地区の行



事などに使用するほか、毎日座談会を開き、多いときは1日に15人程度集まります。持ち寄り漬物や菓子を食べながら、お茶などを飲んだりおしゃべりを楽しんで、交流を深めています。

同集会所を利用している人は「ほぼ毎日来ていて、地震や仮設住宅の話をしたり、昔話を聞いたり楽しく過しています」と話していました。

#### 仮設集会所で 簡単な料理教室を開催

簡単な料理教室は各仮設集会所で毎月1回のペースで実施しています。これは食生活改善推進委員会を中心に考えた「簡単・バランス食」のメニューを、各地区の皆さんに紹介して復興の糧にしています。

2月21日、岡平仮設集会所には約40名が参加。レトルトカレーを使って簡単に作れるカレーうどんやカレースパ

## 震災復興とまちづくり講演会

— 阪神・淡路大震災の経験と教訓を生かして —

阪神・淡路大震災後の復興、まちづくりに取り組んでこられた神戸市の「人と防災未来センター」河田恵昭様を迎えて、中越大震災からの早期復興を祈念して、講演会を開催します。ぜひお越しください。

日 時 3月12日(土) 13時20分から15時まで

場 所 生涯学習センター研修室

講 師 財団法人阪神・淡路大震災記念協会

神戸市「人と防災未来センター」

センター長 河田 恵 昭 様

問い合わせ

企画商工課 ☎ 89-3112



※河田さんは、新潟県震災復興ビジョン策定懇話会の総合アドバイザーや京都大学防災研究所巨大災害研究センター長としても活躍されています。

# 19年ぶりの大雪に 平成17年豪雪

## 2月1日豪雪対策本部設置

昭和61年以来、19年ぶりの大雪になり災害の危険性が高まったため、町では2月1日に豪雪対策本部を設置して雪害の防止対策の体制を整えました。

### 大雪の被害最小限に

2月1日、役場付近では積雪が260cmに達し、特に山間集落の木沢地区では積雪が342cmを超えました。

町では指定積雪観測所（役場、田麦山小学校、消防署）の平均積雪が274cmを超え、災害の危険性が高まった。



ため豪雪対策本部を設置して雪崩などの危険箇所を点検や生活道路確保のための除排雪、水道施設の点検など災害を未然に防止する対策を強化しました。

2月12日、役場付近の積雪が315cm、木沢地区の積雪が418cmと、この冬最大の積雪深になりました。

なお、雪による倒壊家屋は住宅7棟、非住宅10棟の計17棟（2月21日現在）に及んでいます。

※指定積雪観測所とは

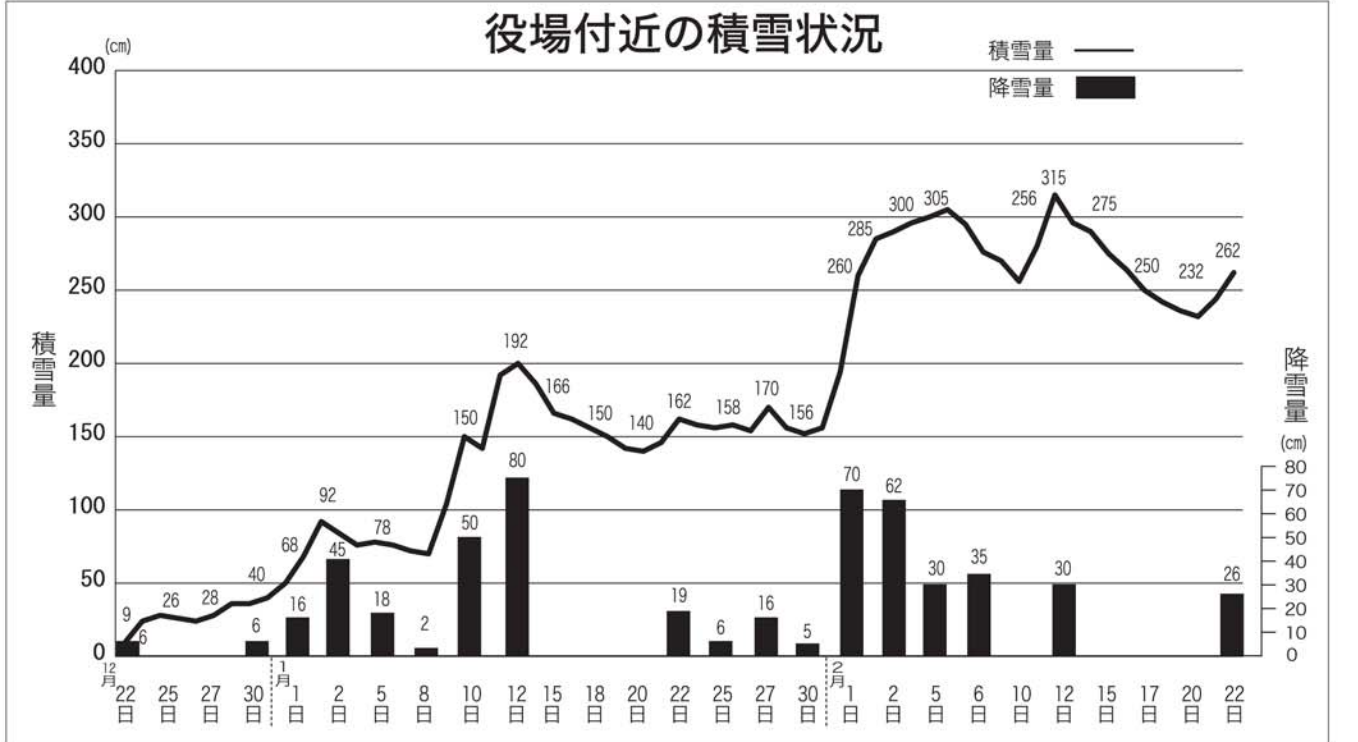
町内5箇所の積雪観測所の内、県から指定された3箇所の観測所（役場、田麦山小学校、消防署）で、この平均積雪深が災害救助法の適用などの基準になります。

### 自衛隊に除雪を要請

町では2月4日、大雪で仮設住宅敷地内にたまった雪の除排雪のため、自衛隊の出動を新潟県に要請しました。県からの出動要請を受けた自衛隊員は、2月5日から7日までの3日間に延べ111人が出動し、計8カ所の仮設住宅で作業を行いました。



### 役場付近の積雪状況



### 健康をわかりやすく紹介

## 震災ショック

# あなたの「ココロ」は大丈夫ですか

### 大きなストレスは「ココロ」の負担

自然災害は非常に大きなストレスとなつて「ココロ」に多大な負担をかけます。もちろんそれに対する心身の反応は「自分の心身を守る（自己防衛機能）」ために必要な反応なのですが、このストレスが強すぎたり、長期に渡ると自己防衛機能の能力を上回ってしまい、心身にさまざまな病気や症状を引き起こす原因

になります。

「ココロ」は自然治癒力がありますので、軽度の場合、日数が経つと自然と治つてしまふことも多いのです。

怖いのは「自分には無関係」とか「自分はストレスを感じていない」と思っている方で、実は気がつかないうちにストレスで「ココロ」を蝕まれている場合です。

### 「ココロ」の病から病気を

#### 「ココロ」は厄介

「ココロ」の問題が厄介なのは、見た目でなかなか判断できないところです。本人も「なんか変だな」と思っても「ココロ」が蝕まれているとは思わないこともあります。

特に小さな子どもだと、うまく表現できないので、普段の行動から保護者が注意しなければなりません。

#### 「ココロ」と関係する病気は

「ココロ」と無関係な病気（症状）はありません（まさに「病は気から」です）。特に皆さんが知っている病気や症状としては、心身症（胃か

いよう、ぜんそく、高血圧、過敏性大腸症、円形脱毛症など）、適応障害、神経症、うつ病（そううつ病）、PTSD（心的外傷後ストレス傷害）などがあります。

#### 「ココロ」と花粉症の関係

「ココロ」の話の中になぜ花粉症と思われるかもしれないが、実はストレスは免疫機能を低下させると言われています。花粉症はアレルギー反応の一種、つまり免疫機能と深い関係があるのです。特に今年は花粉が多いとの予報が出ています。花粉症だった方も、今まで花粉症かな？と

思っている方も今年には要注意です。



このコーナーでは、健康に関することを、なるべくわかりやすく紹介します。皆さんからのご意見やこんなことを知りたいという内容がありましたらお寄せください。町では臨床心理士・精神科医等による「ココロ」の相談を行っています。気になったら保健師に連絡してください。問い合わせ 末広荘（生活福祉課）

☎ 89-2359

### あなたはうつ病を知っていますか

皆さんは「うつ病」をどの程度ご存知ですか。「うつ病」は重度になると日常生活に支障をきたすだけでなく、最悪「自殺」という悲しい結末を迎えることがある病気です。（「ココロの風邪」と言われることもあります）

### あなたのうつ病理解度をチェック

- ① ストレスが続くと
  - a 誰でもうつ病になる
  - b 弱い人だけがうつ病になる
- ② 一生のうちに、うつ病になる頻度は我が国では
  - a 約15人に1人と考えられている
  - b 約150人に1人と考えられている
- ③ うつ病の時には
  - a 抑うつ気分、意欲の低下などの精神症状のみが出る
  - b これらのほかに不眠や頭重感、倦怠感などの症状が伴うことが多い
- ④ うつ病や抑うつ状態になったら
  - a 病気に打ち克つために、より一層がんばらなさいといけな
  - b ゆっくり休み、専門医（精神科医）と相談したほうがよい
- ⑤ うつ病を治療せずにほうっておくと
  - a 重症化することもある
  - b ほとんどは自然に治る
- ⑥ うつ病は誰でもかかるもので
  - a 早期に気付いて治療をすると良くなる
  - b 治療には反応しにくい
- ⑦ うつ病の人の多くは
  - a 病状で悩んでいても病気であることを気付かなかつたりして、医療機関を受診していない
  - b 医療機関で適切な治療を受けている

回答

- ① a ② a ③ b ④ b ⑤ a ⑥ a ⑦ a

# 復興に向かってがんばろう！かわぐち

～震災復興支援イベントのお知らせ～

## 演劇「けんじ先生」公演

中越大震災で被災した子どもたちを応援するために結成された「演劇工房じゅ☆えん」が演ずる、愛と勇気と冒険の物語。歌ありアクションありの感動作です。

日時 3月5日(土)  
13時30分開場  
14時開演

場所 生涯学習センター  
問い合わせ 教育委員会 ☎89-2119

## 春よ来い！ 雪解けコンサート開催

ヴァイオリニストや詩的ポップスバンドが被災した皆さんを元気づけるためにコンサートを開催します。また地元新潟からもバンドやよさこいグループが参加する楽しいコンサートです。

日時 3月13日(日)12時～  
会場 生涯学習センター研修室  
出演 梅澤 美保子  
(全国で活躍中のヴァイオリニスト)  
Poemix (ポエミックス)  
(詩的ポップスバンド、赤浜音楽祭ホストバンド)

※地元新潟からもバンドやよさこいグループが参加します。

問い合わせ 新潟大学震災ボランティア本部 服部  
☎090-6218-6899



## 筑波大学 吹奏楽団訪問演奏会を開催

マツケンサンバⅡやとなりのトトロ、シングシングシンなど誰でも知っている曲目を皆さんにお届けします。

日時 3月17日(木)  
10時40分～11時30分

場所 川口中学校体育館  
問い合わせ 教育委員会 ☎89-2119

## もうすぐ春だ！ がんばろう川口!! 開催

JR東労組西関東地域協議会の皆さんが楽しい激励イベントを開催します。また美味しい食べ物も提供しますので、ぜひお越しください。

日時 3月20日(日)  
11時30分～13時30分

場所 川口中学校体育館  
内容 人形劇「楽しいどらの人形劇」  
エンカイダー(宴会盛り上げ隊)  
夜光龍の舞  
エイサー  
本物の運転士・車掌と記念撮影会

提供食 ほうとう、もちつき、フランクフルト、焼きそば、お菓子など

問い合わせ ほか  
JR東労組大宮 山口  
☎048-643-6655

## 仮設住宅に花が届きます JR東労組の花いっぱい行動

JR東労組組合員の皆さんが仮設住宅に入居している方を激励するためにカーネーションの花束をプレゼントしながら訪問します。

日時 3月27日(日)10時頃  
場所 全仮設住宅

問い合わせ JR東労組大宮 山口  
☎048-643-6655

保育園  
だより

# 「大きくな～れ！」

### 元気いっぱい！笑顔いっぱい！

震災から4カ月が経ち、子どもたちは生活リズムも戻り、いつもと変わらぬ笑顔で元気に過ごしています。保育園では元気な子どもたちの姿を観てもらうために、震災で延期になっていた「発表会」を、2月5日、東川口保育園では「春待ち会」、西川口保育園では「おたのしみ会」として行いました。

春よ来い、願いを込めて

## 「春待ち会」

東川口保育園



あたたかい春を呼び込み、みんなの生活にも春が来るようにと願いを込めて、春待ち会を行いました。子どもたちは家族に観てもらいたいと、



一生懸命練習した劇やダンス、オペレッタを発表しました。真剣に発表する子どもたちの姿に、みんな、あたたかい気持ちになり、普通に生活できることの幸せをかみしめながら、子どもたちの成長した姿に胸を熱くしていました。最後には家族に子どもたち

ちからメッセージが贈られました。  
○家族に送った子どもたちのメッセージ  
大きな地震があつて、とても恐かったです。何日もお風呂に入れなかつたけれど、自衛隊の人が作ってくれたお風呂に入りました。自衛隊の人が作ってくれたご飯を食べました。いろんな人から絵やお手紙、プレゼントをもらいました。いろんな人が来てくれました。皆さんの応援で、元気がもりもりできてきました。本当の春は、もう、すぐそこまで来ています。僕たち、私たち、みんなで仲良くがんばります。皆さん、これからも、私たちを応援してください。

まめまきで復興祈願

## 「お楽しみ会」

西川口保育園



インフルエンザの流行で、数人の子どもたちが休み残念でしたが、休んだ友だちの分まで、子どもたちは歌や合奏、ダンス、劇遊びと、とても張り切っていました。  
お楽しみ会の最後に、延期になっていた「まめまき」を行い子どもたちの健やかな成長と町の復興を願って、みんなで「福は内！福は内」と大きな声をあげていました。

1年間ありがとうございました

かわぐち



水害、地震、大雪と続き大変な1年でしたが、子どもたちの明るい笑顔で乗り切ることができました。そして、地域の皆さんからはいつも温かい応援をいただきありがとうございました。来年度も地域の人たちとの交流や、親子が共に安心して過ごせる保育園にしていきたいです。  
地域の「かわぐちっ子」を温かく見守ってください。

# 被災者生活再建支援金の申請はお済みですか

昨年12月から申請を受け付けている被災者生活再建支援金は、ほとんどの方が申請を済ませていますが、まだ申請されていない方がいます。お早めに役場生活再建支援班まで申請してください。

- ▽対象者
- ・国の支援対象者 り災証明で大規模半壊以上の被災を受けた世帯（世帯の収入が50万円以上の方は対象とならない場合があります。）
  - ・県の支援対象者 り災証明で半壊以上の被災を受けた世帯
- ▽支援内容
- ・国の支援 家具や家電品等の購入に対する支援（全壊のみ）や整地費や借入金等の一部支援
  - ・県の支援 新築及び家の補修費用や家具、家電製品等購入に対する支援
- ▽支援金の額
- 世帯主の年齢や世帯の年収、り災の状況により支援金の額が変わりますので、申請の際、お問い合わせください。
- ▽申請方法
- り災証明書・印鑑・振込先の通帳を持参のうえ、役場生活再建支援班に申請してください。
- 問い合わせ 生活再建支援班  
☎ 89-3111  
(内線312)

# 住宅借入金等特別控除を受ける方の申告相談会

平成16年中に住宅を新築等され、一定の要件に当てはまる方は、当該控除を受けることが出来ます。

該当者の方の相談会は次の日程で行います。

日時 3月11日（金）  
9時～17時

場所 役場3階第一会議室

問い合わせ 税務会計課  
☎ 89-4414



# ガスを安全に使っていただくために！

震災による復旧作業で仮設配管を行っている家庭では特に、雪の重みや除雪作業によるガスパイプの損傷にご注意ください。

- ①ガス臭いと感じたら窓や戸を大きくあけて、換気を。換気扇は着火源となる恐れがあるので絶対使用しないでください。
- ②換気を充分に行い、雪が給排気口を塞がないように除雪してください。また、一酸化炭素中毒に注意しましょう。
- ③地震が発生したら、まず落ちついて、使用中のガス器具の栓と元栓を全部締めましょう。

この寒い季節を暖かく便利に、安全に過ごしましょう。

問い合わせ  
公営企業班 ☎ 89-4417

# 新潟県中越大震災被災者のための弁護士による無料法律相談会を開催

震災の被災者でお困りのことがある方は、この機会に無料法律相談を受けてください。

日時 3月27日（日）  
13時～16時

場所 生涯学習センター

※予約は不要ですが、相談者が多数の場合は順番待ちとなります。

問い合わせ 新潟県弁護士会  
☎ 025-222-3765

# 社会保険事務所の窓口時間が延長されます

○毎週月曜日の年金相談の受付時間を19時まで延長します。ただし、月曜日が祝日の場合は火曜日に延長します。

○休日の年金相談窓口を開設します。左記の日程のとおり土・日年金相談を受け付けます。



日程 3月12日(土)、13日(日)

問い合わせ  
長岡社会保険事務所  
☎ 36-5414

# 平成17年魚沼市・川口町新春小・中学生書道展入賞者(敬称略)

(1月29日～30日・堀之内体育館)

- 大賞 関 奈々美 (川中1年)  
井浦 仁美 (川中3年)
- 準大賞 渡辺 洋平 (川中1年)  
吉原有佳里 (川中2年)
- 優秀賞 宮 紗智 (川中2年)
- 奨励賞 丸山 美樹 (川中1年)  
関 裕子 (川中3年)  
関 博子 (川中3年)  
米山 奈央 (川中3年)

# 震災復興支援イベント

## 沖縄伝統芸能エイサー 那覇太鼓

1月22日、川口中学校体育館において沖縄県的那覇太鼓の皆さんが勇ましい太鼓の演奏を披露しました。

これは沖縄県の伝統芸能エイサーで被災者に元気になってもらうために開催したもので、太鼓の演奏のほか、演舞体験など、来場者は、楽しいひと時を過ごしました。また、町の教育のために義援金をいただきました。



**ものまねコンサート**  
北九州市を愛する友の会

2月11日、川口中学校体育館において北九州市職員を中心とする北九州市を愛する友



身近な情報をお寄せください！

企画商工課  
TEL 89-3112

# 災害を追いはらえ 保育園児の節分

2月3日は節分、東川口保育園では少し早い2月1日に豆まきを行いました。

同園児たちは自分の直したいくせや病氣、災害を追い出そうと赤鬼、青鬼に豆を「福は内！鬼は外！」と一生懸命投げました。たくさん豆をぶつけられると鬼たちは退散していききました。悪い鬼は追い出されてよい春を迎えられるでしょう。



# タッキーら芸能人が 町を激励に

1月26日、ジャニーズ事務所代表として俳優の滝沢秀明さんが川口中学校を訪問し、生徒たちを励ましました。

滝沢さんはサイン入り図書カードを生徒全員にプレゼントし、一人ひとりに握手して回りました。生徒たちは、思いがけない大スターの来校と握手に少し緊張しながらも目を輝かせていました。



2月13日、和泉元彌さんから狂言和泉流宗家の方々が激励に川口中学校を訪れ、狂言の公演や動物の鳴き声当てクイズ、握手、サイン会を行い、来場者を元気づけました。

2月17日、18日には杉良太郎さん、五代夏子さんが除雪の手伝いやぬくもり荘、仮設集会所を訪問するなどのボランティア活動に参加、町民を励ましました。



# 千曲流大正琴演奏会

2月17日、新津市の琴金会の皆さんが生涯学習センターに町を元気づけるため訪れ、千曲流大正琴演奏会を行いました。

同演奏会には約40人が訪れ、16人の演奏者の一糸乱れない、美しい音色に聴き入っていました。同会からは町に義援金をいただきました。



## 千曲流大正琴演奏会 琴金会

同演奏会には約40人が訪れ、16人の演奏者の一糸乱れない、美しい音色に聴き入っていました。同会からは町に義援金をいただきました。

### 元気モリモリ コンロひとつでアイデア料理

#### カレースパゲティ



仮設住宅の狭い台所での簡単料理。  
今月はレトルトカレーでちょっとひと工夫。鍋ひとつで出来るカレースパゲティです。

#### ●材料 (1人分)

- レトルトカレー..... 1袋
- 水..... 300cc
- 麺つゆ..... 適宜
- 玉ねぎ..... 1/2 枚
- スパゲティ..... 60g

#### ●作り方

- 鍋に水を入れて火にかける。  
煮立ったらスパゲティを適当に折って茹でる。
  - 玉ねぎは薄切りにする。
  - 麺が少し固めの時にレトルトカレーと玉ねぎの薄切りを加えて煮る。
  - 最後に麺つゆで味を整える。
- ※スパゲティは湯でこぼさないで、茹で汁ごと使います。

「コンロひとつでアイデア料理」は  
食生活改善推進委員が紹介しています



右から  
小林由美子 (八郎場) ☎ 89-2882  
丸山 フミ (長坂) ☎ 89-2561



### 元気ですーかわぐちっい

丸山 諒 ちゃん (長坂・2歳)  
勝政さん 綾子さん

仲のいい諒くん (左) とお兄ちゃんの真弥くん (右)

ひらがなの50音をすべて言える諒くん、行の最初の言葉を言うと、すらすら出てきます。晴れた日には雪玉を作ったり、滑ったり外で元気に遊んでいます。お兄ちゃんが大好きで、保育園から帰ってくるのを楽しみに待っています。お兄ちゃんに負けられないよう強くなりたい諒くんでした。

### 俳句

大内迪子先生選 公民館句会 (1月16日)

○家倒れ闇にかすかな雪明り  
○被災地の瓦礫の中の玉椿  
初雪や地震に崩れし山に積む  
初詣先づ復興を祈念する  
地震跡の雪に被はれ大旦  
初旅や遠富士あかず眺めをり  
一枚の賀状したためられずある  
日の差せば鴨も楽しく見えにけり  
住めぬ家冬囲ひする夫の居し  
激震や娘は母を負ひ駆け寒し  
倒壊のままの鳥居や初詣  
まだやまぬ雪の大山景色変へ  
しんしんと雪降り年の移り行く  
余震又くるかも知れず雪おろす

三輪 京子  
森山 菊江  
岡村佐和子  
覚張 次郎  
上村たつお  
佐藤 信  
鈴木 良仙  
藤田 節子  
星野千恵子  
丸山 トシ  
丸山 好枝  
目黒 せつ  
山田 チヨ  
山田 久子

■次会のお知らせ  
3月12日(出) 生涯学習センター  
4月9日(出) 生涯学習センター  
13時から

皆さんのページです。投稿をお待ちしています！  
企画商工課 ☎89-3112

## みんなの広場

### 全国に届け、キャンドルに込めた 元気と感謝のメッセージ

#### 元気かわぐちっいフェスタ2005開催



2月26日、川口町民の本場の強さと明るさを全国に発信するために、北魚沼商工会青年部連絡協議会主催で「元気かわぐちっいフェスタ2005」があおりの里、ぬくもり荘駐車場を会場に行われました。

応援していただいた全国の皆さんへ感謝の気持ちを含めたメッセージをキャンドルで作成、午後5時には「みんなありがとう」の文字が鮮やかに浮かび上がりました。会場周辺には約5千本のキャンドルが灯され、町中でも一斉に復興の願いを込めたキャンドルが



点灯されました。会場ではスペシャルゲストの神取忍さんが来場者に「がんばって」と一人ひとりに握手しました。ステージショーは陸上自衛隊第12音楽隊の演奏会や町内小学校児童による芸能発表、田上甚句保存会や万代太鼓神龍会による勇壮な太鼓の演奏など多彩な内容で来場者を楽しませました。また、うまいもの市場ではつみれ汁ややきそばなどの食べ物に来場者は暖まりました。エンディングには花火を打ち上げて、全国にかわぐちの元気を見せることができました。来場者はこれからもがんばっていかうと誓い合いました。

### わたしの復興への願い

#### 震災から復興への思いを綴る

震災から復興へ向かって動き始めた川口町。震災体験と復興に向けて自分なりにがんばっていききたいことなど、思いを込めて書いていただきました。

#### 復興に願いを込めて

金子 武 (川口4)



緑豊かな山並み、絵になる清流に囲まれたわが町を突然震度「7」という予想もしない大地震が襲い、かけがえのない尊い人の命を奪い、多くの人々を悲惨な目に追い込んで4カ月になろうとしている。

今尚わずかの余震でも、あの時体験した恐怖、不安が思い出され緊張がよぎる。自然の猛威と比べていいのか、あの極限状態の中で被災者同士が肩を寄せ合って不自由な避難生活で生まれた絆は、雪国人特有の辛抱強さに一層磨きを

かけたともいえるのではないかと。しかし仮設による避難生活は長引くことが予想される、そのための疲れや、将来への不安から一人ひとりの口数も少なくなり、心身のケアをどうするか、課題も多い、だが仮設入居者の言葉から、元の生活を取り戻す決意が伝わってくることに力強さを感じる。

ともあれ、住んでいて良かったというわが町の復興というそれだけの長く厳しい道のりは始まったばかりである。それと同時にややもすると人と人との関係が希薄になりがちな世相の中で、避難所生活で培ったお互いの絆を行政と地域住民の連帯感の架け橋にして、みんなが望んでいる復興の支えになつてくれることを願っている。

震災からがんばっていききたいことなど、自分なりの思いを一人でも多くの人に伝えませんか。  
問い合わせ 企画商工課  
☎89-3112